

第1回認定試験問題

問 01.動物病院における犬の呼称を次の中から1つ選びなさい。

- 1.Canine
- 2.Feline
- 3.Bovine
- 4.Equine
- 5.Swine

問 02.ワクチン接種証明書を作成するときの注意点について間違っているものを次の中から1つ選びなさい。

- 1.所有者氏名、住所を必ず正しく記載する。
- 2.動物の個体識別のため、種類、名前、年齢、雄雌を必ず正しく記載する。
- 3.接種したワクチンの種類を正しく記載する。
- 4.接種年月日を正しく記載して、次回の接種予定日は必要があれば記載する。
- 5.動物病院住所、動物病院名のみを正しく記載して、獣医師名の記載は必要ではない。

問 03.電話対応について取り次ぎが必要なときの対応として間違っているもの1つ選びなさい。

- 1.少々お待ちください。と伝えて取り次ぐ
- 2.受話器を手で塞いで取り次ぐ
- 3.電話を保留にして取り次ぐ
- 4.電話を取り次ぐか折り返し電話するか要件を聞くかを事前に決めておく
- 5.診察中の取り次ぎはメモに記入して取り次ぐ

問 04.取引先からの電話対応において間違っているものを次の中から1つ選びなさい。

- 1.A.はい、〇〇動物病院、診療助手の△△です。
B.●●製薬の▲▲ですが、院長先生はお見えでしょうか。
- 2.A.はい、院長先生ですね。確認して参ります。
おまたせいたしました、ただいま診察中ですので、よろしければ、後ほど、こちらから折り返し連絡させていただきます。
B.では、申し訳ありませんが、折り返しのご連絡をお願いいたします。
- 3.A.はい、では念のため、電話番号をお教えいただけますでしょうか。
B.電話番号はxxxです。
- 4.A.ありがとうございます、復唱いたします、xxxでよろしいでしょうか。
B.はい。

5.A.申し伝えます、本日は私、△△が承りました、それでは失礼いたします。

問 05.飼育者からの問い合わせ電話への対応で間違っているものを次の中から1つ選びなさい。

1.A.もしもし、〇〇動物病院、診療助手の△△です。

B.お尋ねしたいことがあるのですが。

2.A.はい、お伺いします。

B.診察時間は何時からでしょうか。

3.A.はい、診察時間は×時から×時までです。

B.ありがとうございます。

4.A.失礼ですが、当院をご利用いただいたことはありますでしょうか。

B.初めてです。

5.A.ご来院をお待ちしています。何か、ご心配やお困りのことがありましたらいつでもご連絡ください。

問 06.犬猫の保定について適切ではないものを次の中から1つ選びなさい。

1.攻撃的な動物には薬物による鎮静を行う場合がある。

2.攻撃的な動物でも薬物による鎮静を行わないで、力づくで押さえるべきである。

3.動物への処置をする場所によって保定方法は異なる。

4.猫の保定にはタオルや袋が有効なことがある。

5.動物と飼育者の保護は大切であるが、獣医師とスタッフの保護も大切である。

問 07.動物診療助手に望まれる姿勢として間違っているものを次の中から1つ選びなさい。

1.職務に対する心構えとして常に向上心を持つ。

2.動物に対しても飼育者に対しても思いやりを持つ。

3.礼儀正しくマナーを重んじる。

4.プロとしての自覚を持つ。

5.楽しく仕事をするために自分の得意とする仕事だけを行う。

問 08.初診の飼育者が来院したときに信頼してもらうためのコミュニケーションで受付として配慮することとして間違っているものを次の中から1つ選びなさい。

1.飼育者に爽やかな印象を与えて好感を持ってもらい、信頼されるために笑顔で挨拶する。

2.第一印象を良くするために香水等を強めにつけて指輪等の装飾品を身に付けて、飼育者からの見た目の印象を良くする。

3.待合室で座っている飼育者と話をするときは、飼育者の目の高さまたはやや低くして、上からの視線とならないようにする。

4.飼育者の外見や動物の状況によって偏見や先入観を待たないで権威的な態度で接しないようにする。

5.飼育者からの依頼は、メモを取り、飼育者からの要求に応じていることを表して、飼育者に安心と信頼を与える。

問 09.次の中から受付業務として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.初診であれば来院理由を丁寧に聞く。
- 2.必要書類への記入を依頼する。
- 3.緊急性がある場合でも診察の順序を守る。
- 4.再診であれば飼育者名や動物名をできる限り記憶する。
- 5.待合室の様子や環境を常に注意して観察する。

問 10.次の中から最も緊急性が低いと考えられる状態を1つ選びなさい。

- 1.虚脱
- 2.痙攣
- 3.意識消失
- 4.ショック
- 5.脱毛

問 11.次の中から橈側皮静脈から採血を行っている保定を1つ選びなさい。

問 12.すべての人が「動物は命あるもの」であることを認識し、みだりに動物を虐待することのないようにするのみでなく、人と動物が共に生きていける社会を目指して動物の習性をよく知ったうえで、適正に取り扱うよう定めている法律を次の中から1つ選びなさい。

- 1.自然環境保全法
- 2.鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
- 3.社会福祉法
- 4.動物の愛護及び管理に関する法律
- 5.絶滅のおそれのある動植物の種の保存に関する法律

問 13.次の中から特定外来生物に指定されていない外来生物を1つ選びなさい。

- 1.アカゲザル
- 2.アライグマ
- 3.ハリネズミ
- 4.ハクビシン
- 5.ヌートリア

問 14.次の中から法律によって犬への予防注射接種が義務付けられている感染症を1つ選びなさい。

- 1.コロナウイルス感染症
- 2.パルボウイルス感染症
- 3.ジステンパー症
- 4.フィラリア症
- 5.狂犬病

問 15.次の中から犬の混合ワクチンに含まれていない感染症を1つ選びなさい。

- 1.狂犬病
- 2.犬ジステンパー症
- 3.犬パラインフルエンザ
- 4.犬パルボウイルス感染症
- 5.犬伝染性肝炎

問 16.次の中からスコティッシュフォールドを1つ選びなさい。

問 17.犬糸状虫（フィラリア）を媒介する生物を次の中から1つ選びなさい。

- 1.ノミ
- 2.マダニ
- 3.シラミ
- 4.ハジラミ
- 5.蚊

問 18.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の原因ウイルスを媒介する生物を次の中から1つ選びなさい。

- 1.マダニ
- 2.蚊
- 3.スズメバチ
- 4.ヒル
- 5.ノミ

問 19.次の中から犬の妊娠期間として正しいものを1つ選びなさい。

- 1.約4か月
- 2.約3か月

- 3.約 2 か月
- 4.約 1 か月
- 5.約 2 週間

問 20.次の中から光学顕微鏡の構造ではないものを 1 つ選びなさい。

- 1.接眼レンズ
- 2.対物レンズ
- 3.電源スイッチ
- 4.光源
- 5.プレパラート

問 21.次の中から犬猫の眼の構造物ではないものを 1 つ選びなさい。

- 1.角膜
- 2.水晶体
- 3.硝子体
- 4.陰囊
- 5.結膜

問 22.次の中から交尾排卵動物を 1 つ選びなさい。

- 1.猫
- 2.牛
- 3.マウス
- 4.犬
- 5.サル

問 23.次の中から人獣共通感染症ではないものを 1 つ選びなさい。

- 1.レプトスピラ症
- 2.回虫幼虫移行症
- 3.狂犬病
- 4.ジステンパー症
- 5.重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

問 24.次の人獣共通感染症についての記述の中から間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.回虫が人に感染する経路は、感染動物の糞便中に排泄された虫卵の直接的・間接的な経口感染である。
- 2.エキノコックス症は多包条虫が原因の寄生虫症であり、キタキツネ等のキツネのみが感染

する。

- 3.猫ひっかき病は細菌であるバルトネラによる細菌性感染症である。
- 4.猫ひっかき病はノミが媒介する。
- 5.レプトスピラ症はネズミ等の感染動物の尿に触れることにより経皮的に人や犬に感染する。

問 25.次の中から猫の混合ワクチンに含まれていない感染症を1つ選びなさい。

- 1.猫カリシウイルス感染症
- 2.猫ウイルス性鼻気管炎
- 3.猫汎白血球減少症
- 4.猫白血病ウイルス感染症
- 5.猫免疫不全ウイルス感染症

問 26.次の中から最も細い注射針を1つ選びなさい。

問 27.手術の術野を準備する順序で最も適しているものを1つ選びなさい。

- 1.消毒→毛刈→ドレープで術野を覆う
- 2.毛刈→ドレープで術野を覆う→消毒
- 3.ドレープで術野を覆う→毛刈→消毒
- 4.毛刈→消毒→ドレープで術野を覆う
- 5.消毒→ドレープで術野を覆う→毛刈

問 28.体温測定を行う部位を次の中から1つ選びなさい。

- 1.直腸
- 2.結腸
- 3.十二指腸
- 4.額
- 5.口腔

問 29.血球数の測定や血液塗抹標本作製するとき用いる抗凝固剤を次の中から1つ選びなさい。

- 1.ヘパリン
- 2.クエン酸ナトリウム
- 3.カルシウム
- 4.マグネシウム
- 5.EDTA

問 30.次の中から翼付静脈針を 1 つ選びなさい。

問 31.次の中からタオル鉗子を 1 つ選びなさい。

問 32.注射針を廃棄するときにはどのような廃棄物に分類するか、次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.不燃ゴミ
- 2.可燃ゴミ
- 3.感染性廃棄物
- 4.非感染性廃棄物
- 5.事業ゴミ

問 33.TPR について正しいものを次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.T 呼吸数 P 体温 R 心拍数
- 2.T 体温 P 呼吸数 R 心拍数
- 3.T 体温 P 心拍数 R 呼吸数
- 4.T 心拍数 P 呼吸数 R 体温
- 5.T 心拍数 P 体温 R 呼吸数

問 34.健康な成犬の安静時体温を次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.36.5℃前後
- 2.37.5℃前後
- 3.38.5℃前後
- 4.39.5℃前後
- 5.40.5℃前後

問 35.次の中からレントゲン撮影および X 線防護について正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1.法律によって女性はレントゲン撮影にたずさわってはならないと規定されている。
- 2.X 線は遺伝子に障害を与えるが被曝した当人には障害はない。
- 3.散乱線よりも一次線の被曝線量が多いので X 線照射野に入るおそれがある保定の手には防護手袋を必ず着用する。
- 4.レントゲン撮影記録は被曝線量測定を行っていれば記録する必要はない。
- 5.撮影済みのレントゲンフィルムは専用封筒に必要事項を記入していればフィルムにラベルをする必要はない。

問 36.輸液を実施するための準備として必要がないものを次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.輸液セット
- 2.翼付静脈針
- 3.腸鉗子
- 4.延長チューブ
- 5.アルコール綿

問 37.健康な状態の動物の血液中に最も多く検出できる白血球を次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.リンパ球
- 2.単球
- 3.好塩基球
- 4.好酸球
- 5.好中球

問 38.写真の寄生虫卵の寄生虫名を次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.回虫
- 2.鉤虫
- 3.鞭虫
- 4.マンソン裂頭条虫
- 5.瓜実条虫

問 39.次の中から泌尿器系に分類されない臓器を 1 つ選びなさい。

- 1.腎臓
- 2.尿管
- 3.膀胱
- 4.卵巣
- 5.尿道

問 40.薬剤の投与経路として間違っているもの次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.IM：筋肉内
- 2.IP：腹腔内
- 3.PO：経口
- 4.SC：直腸内
- 5.IV：静脈内

問 41.犬糸状虫（フィラリア）の成虫が寄生する臓器を次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.腎臓
- 2.肝臓
- 3.脳
- 4.心臓
- 5.小腸

問 42.次の中から人には感染しない猫の感染症を 1 つ選びなさい。

- 1.猫回虫症
- 2.重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
- 3.猫ひっかき病
- 4.トキソプラズマ症
- 5.猫免疫不全ウイルス感染症

問 43.次の中から吸血する寄生虫を 1 つ選びなさい。

- 1.毛包虫（アカラス、ニキビダニ）
- 2.穿孔疥癬虫（ヒゼンダニ）
- 3.ツメダニ
- 4.耳疥癬虫（ミミダニ）
- 5.マダニ

問 44.次の消化管内寄生虫の中からノミが媒介する寄生虫を 1 つ選びなさい。

- 1.コクシジウム
- 2.瓜実条虫
- 3.犬回虫
- 4.犬鉤虫
- 5.マンソン裂頭条虫

問 45.動物病院スタッフとして倫理的に正しいものを次の中から 1 つ選びなさい。

- 1.入院動物への投薬を動物診療助手の判断で行ってもよい
- 2.使用期限を過ぎた薬品を持ち帰って自分の動物に投与してもよい
- 3.診察時間終了間際に来院した飼育者には説明を省略してもよい
- 4.室内で飼育している犬への狂犬病予防注射を接種しなくてもよいと説明してよい
- 5.飼育者および飼育動物の情報を外部に公開してはならない

問 46.食餌指導について間違っているものを次の中から 1 つ選びなさい。

1. 犬の主食は総合栄養食のドッグフードを推奨する。
2. 猫の主食は刺身やササミの生食を推奨する。
3. ウサギの主食は牧草の干草を推奨する。
4. ウサギの副食は配合飼料のラビットフードを推奨する。
5. モルモットの主食は牧草の干草を推奨する。

問 47. ワクチン接種後の注意点として正しいものを次の中から 1 つ選びなさい。

1. 初回のワクチン接種後の数時間は特に注意して変化がないかを観察する。
2. ワクチン接種後は普段通りの生活を心掛ける。
3. 猫にはワクチンアレルギーはない。
4. ワクチン接種後、すぐにシャンプーをしてもよい。
5. 5 回以上ワクチンを接種して異常がなければ特に観察する必要はない。

問 48. 次のデンタルケアの記述の中から間違っているものを 1 つ選びなさい。

1. 歯垢は犬では 3～5 日で歯石となり、歯石は歯磨きでは除去できないので、歯磨きを毎日行うことが理想である。
2. 痛み等から口を触らせることを拒絶している場合は、適切な歯科処置を行ってから家でのデンタルケアを実施する。
3. 口腔内の痛み等がある場合は、早くデンタルケアを始めることが必要である。
4. デンタルケアは飼育者と動物との重要なスキンシップの時間であると認識してもらうことが必要である。
5. デンタルケアは乳歯の時期から始めることが理想であるが、その時期を過ぎててもいつからでも始められることを飼育者に理解してもらう。

問 49. 不妊手術前の給餌について飼育者への指示として正しいものを次の中から 1 つ選びなさい。

1. 前日も当日も普段と同じように給餌してもよい。
2. 手術後は食餌を与えられないので前日の夜には通常の 1.5 倍の食餌を与える。
3. 手術後は食餌を与えられないので通常よりも遅くに食餌を与える。
4. 手術当日は絶食して来院してもらう。
5. 普段と変わりなく来院してもらう。

問 50. 次の中から犬猫に与えると中毒症状を起こす食物を 1 つ選びなさい。

1. 鶏肉
2. キャベツ
3. タマネギ

4.豚肉

5.リンゴ